



船橋市議会議員

(37歳)

みっはし

三橋さぶろう

保育士の確保が急務

待機児童対策が急務です。船橋市の保育園の待機児童数が全国の自治体の中でワースト2位という状況。以前の記事でもご報告しましたが平成27年4月1日時点で待機児童(船橋市基準)が1,067人だったのが、11月1日時点ではさらに増加して1,601人になりました。

船橋市の保育園の待機児童の問題で特に深刻なのは保育士が不足していることです。保育施設は空いているのに保育士が不足して定員までの受け入れができない保育園があります。船橋市立保育所においても保育士が不足していることが要因で約300人の待機児童が発生しています。

船橋市では保育士確保のため以下の支援策を行っています。

- ① 市内の私立保育園・認定こども園に勤務する保育士に月額約2万4千円、期末手当約6万6千円の手当を市が支給。
- ② 市内の私立保育園・認定こども園、小規模保育事業所が勤務する保育士ために借り上げた住宅家賃補助(上限8万2千円)。

裏面へ続く

三橋さぶろう プロフィール

- 1978年 長野県木島平生まれ(37歳)
- 2002年 中央大学商学部卒業後
株式会社カネボウ勤務
江東区健康スポーツ公社勤務
- 2008年 衆議院議員 野田佳彦秘書
- 2011年 衆議院議員 若井康彦公設秘書
- 2015年 船橋市議会議員選挙 当選
・文教委員会 ・広報委員会 ・民主党会派
- 特 技: クロスカントリースキー
1998年長野オリンピックボランティアスタッフ
2002年ソルトレイクシティ・パラリンピック日本代表コーチ
- 家族: 妻、息子(3歳)

(前面から)

- ① 修学資金を貸付。市内の保育園に保育士として勤務する意思のある方に修学資金を貸付します。卒業後に市内保育園などに一定期間勤務すると貸付金の返還が免除されます。

また、船橋市は公立保育園の臨時保育士を確保するため、平成28年1月より時給を290円アップします(時給1,510円)。

私は臨時保育士の待遇改善をし、保育士を確保することはもちろん賛成です。しかし、もっと確保すべきは常勤の保育士ではないでしょうか？ 保育士も臨時職員では賃金などの待遇、将来の不安があり、他の労働条件の良い民間保育園や他の職業に転職してしまうことが予想されます。安定的に公立保育園を運営していくためにも常勤の保育士確保を船橋市に求めています。

まず船橋市の常勤保育士の採用試験ですが、年1回しかありません。民間企業では正社員を通年で採用しているところもあります。必要な人材を確保するためにも船橋市も随時、採用試験を実施しても良いのではないのでしょうか？

また、常勤保育士の採用試験の受験資格は27歳までとなっています。年齢要件については、もっと柔軟にした方が常勤保育士を確保しやすくなると思いますので、この事についても船橋市に対応を求めています。

保育士を確保すると同時に、保育園を支える時間外保育職員、保育補助職員、給食調理員、用務員をしっかりと確保して船橋市は安心・安定した保育園運営をしていくべきです。これらの職種について職場の状況や採用・待遇についても調査・検討し改善すべきことがないか点検していきと思います。

保育士不足は民間保育施設でも同じです。船橋市の保育士を確保するため、私立保育園から人材を奪うような方法で保育士を確保したのでは意味がありません。私立保育施設の保育士などの人材確保策についても船橋市に求めています。

三橋さぶろう事務所

〒274-0063 船橋市習志野台4-10-12 1階

新京成線 習志野駅から徒歩4分。 駐車場はございません。

電話：047-402-2810 FAX：050-3488-3190

E-mail: funabashi@mituhashisaburo.jp

HP: <http://mituhashisaburo.jp>

事務所にお越しの場合は、あらかじめご連絡いただくと助かります。